



なのはなさくら



第5号

文責 村井 隆幸

【学校教育目標】

子どもと学びを未来につなぐ～開拓者精神を受け継ぐ子どもたちのために～

全国学力・学習状況調査（結果）について

4月17日（木）に、令和8年度全国学力・学習状況調査が、全国の6年生を対象として行われました。今年度は、国語と算数の2教科と学習や生活に関する質問紙調査（アンケート調査）が実施されました。その結果が7月中旬に文部科学省より公表されました。

全国学力・学習状況調査は、6年生のみが対象の調査ではありますが、本校ではこの結果を学校全体の傾向であると捉え、結果を分析した上で、今後の教育活動の改善につなげていきたいと考えています。

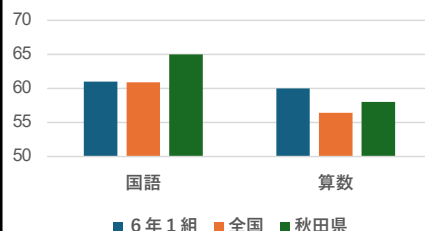
1 各教科の調査結果から

国語は、全国平均とほぼ同等の結果となり、県平均からは4%下回りました。問題別の結果からは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、自分の考えが伝わるように表現すること、文章全体の構成や展開を考えること等に課題が見られました。また、「短い」の送り仮名を「短かい」と書いた子どもが多く見られ、基礎的な知識及び技能の反復練習の重要性を改めて感じました。

算数は、全国平均と比べて正答率が3.6%、県平均からは2%上回る結果になりました。しかし、問題別の結果からは、体積の意味を理解している、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述する、帯グラフの特徴と用い方の理解等に課題が見られました。「知識・技能」「思考・判断・表現」のいずれにおいても全体的な底上げを図る指導の必要性を感じました。

	国語	算数
本校	61.0	60.0
全国	60.9	56.4
秋田県	65.0	58.0
全国との差	+0.1	+3.6

教科平均正答率（%）



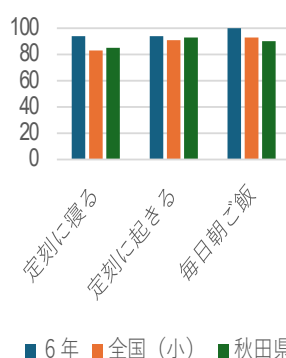
2 質問紙調査の結果から

（1）生活習慣や学習習慣について

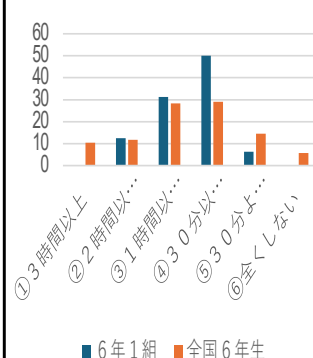
○基本的な生活習慣については、今年度も概ねよい傾向が見られました。特に、「朝食を毎日食べているか」については、肯定的な意見の割合が100%でした。

○家庭学習の時間については、「1時間以上2時間未満」が約31%、「30分以上1時間未満」が約50%と、約81%の子どもが本校の高学年の目安としている「60分」に近い結果でした。家庭学習の習慣化は、学習内容の定着につながる大切な要素です。今後も、家庭学習がより充実するように支援したいと思います。

早寝早起き朝ごはん



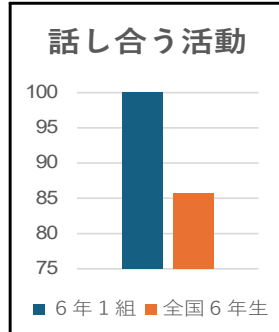
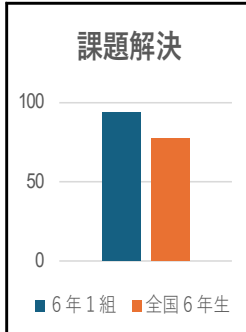
平日の家庭学習時間



(2) 学習について ※今年度の本校の重点目標に関わる項目のみ抜粋

課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしていますか。

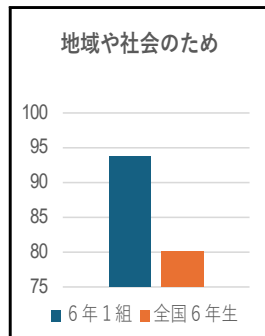
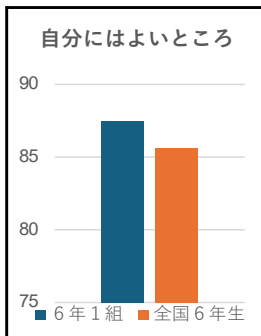


○本校では、課題解決の方法を子ども自身が設定・選択できるようにし、子ども自身が主体的に課題の解決に取り組むことができる授業を目指しています。グラフからは、肯定的に回答した子どもの割合が全国に比べて高いことが分かります。引き続き課題解決に向けて学習を見通したり、試行錯誤したりする場面を学習の過程に位置付け、子どもの学びに向かう力を育みたいと思います。

○「考えを伝え合い、共に学びを深める子ども」を目指し、授業改善に取り組んでいます。話し合う活動に肯定的な回答をした子どもは100%であり、全国平均より約14%も高い割合を示しています。話し合いには、自分の考えを深めたり、広げたりする効果があります。今後も、課題解決の過程に対話的に学ぶ場面を意図的に設定していきたいと思っています。

自分にはよいところがあると思いますか。

地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思いますか。

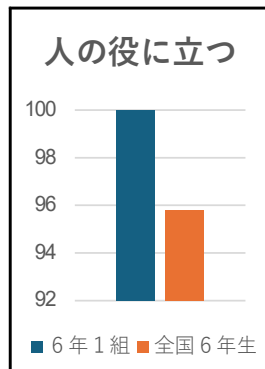
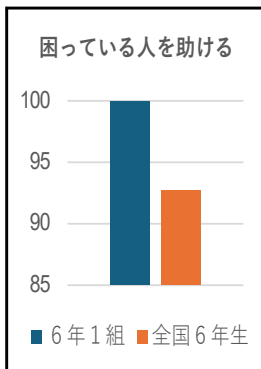


○様々な行事や縦割り班活動の実践から、自己肯定感や自己有用感の育成を目指しています。肯定的に回答した子どもの割合が約88%と、全国平均より約2%高い割合を示しています。今後も特別活動やキャリア教育の充実を図り、自尊感情を高めていきたいと思っています。

○「地域や社会のために何かしてみたい」と考えている子どもの割合は、約94%と全国平均を約14%も上回っています。本校では、総合的な学習の時間に係る様々な体験活動、クラブ活動、読み聞かせ等、多くの場面で地域の皆様から御協力をいただいています。このように、自分たちは地域の方々に支えられているという思いが、自分も地域の一員として貢献したいという思いにつながっているものと考えます。今後もその思いを、継続して持ち続けることができるよう努めていきたいと思っています。

人が困っているときは、進んで助けていますか。

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



○道徳教育の充実、異学年交流、他校種連携等を実施し、互いを尊重する共感的な人間関係づくりや思いやりの心を育む教育活動の充実を目指しています。肯定的に回答した子どもの割合が100%と全国平均より、約7%高い割合を示しています。本校の子どもたちの優しさがうかがえる結果となりました。今後も全教育活動を通した、道徳教育の充実にも努めていきたいと思っています。

○「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問には、肯定的な回答をした子どもが100%という結果で、全国平均より約4%高い割合を示しています。家庭や地域での活動を通して、他者と関わることのよさや、集団の中で役割を果たすことの意義について、実感を持った理解ができているものと推察できます。今後も、体験活動を充実させ、感動と共感を生む教育活動の展開に努めていきたいと思っています。

(3) その他

「学校に行くのが楽しい」という質問に、本校では約94%が肯定的に回答しており、全国平均より約8%高い割合を示していました。今後も子どもたちにとって、「学校が楽しい」と思えるように、ユニバーサルデザインの視点で取り組んでいきたいと思っています。